



上松 広報 あげまつ



“Catalog Pocket”
でも配信しています

1
2026/JANUARY
740号



美林ちゃん

令和8年1月1日現在
世帯 1,948 戸(+ 6)
男 1,870 人(- 5)
女 1,943 人(- 3)
計 3,818 人(- 8)

上松保育園お餅つき

12月23日(火)に上松保育園では、ひと足早いお餅つきが行われました。

保護者の人達に手伝ってもらいながら、園児1人ひとりが頑張って杵をもって、お餅つきを体験しました。園児たちは大きな杵に苦戦しながらも、「よいしょ！よいしょ！」と声を掛け合い、元気いっぱいにお餅をつきました。(関連記事 4P)



太郎ちゃん

令和八年 新年のごあいさつ

新年、明けましておめでとうございます。

皆様には、穏やかに、新しい歳をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より町発展のため、ご理解とご協力をいただいておりますことに対しまして、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年6月3日、赤沢自然休養林において、20年に一度の伊勢神宮「御杣始祭」が、古式にのっとり厳かに執り行われました。

続く、「御神木祭」では、木曾を挙げてのお祝いが繰り広げられ、人の波と熱気が町を包み込みました。

神宮の御遷宮は、1336年前の持統天皇4年に第1回目が行われ、今回が第63回目となります。

木曾山での神宮御用材の伐採が始まったのは約400年前で、明治以降は、140年に亘り上松の地から御神木が出されています。

日本の歴史の一ページとも云うべき伊勢神宮の御遷宮に関われることは、この地に住む者にとって誇りであり、長く支えて来られた先人の皆様の努力に、心より感謝申し上げるとともに、伊勢との関係が長く長く続くよう、今を生きる私たちが次の世代に繋げていかなければいけないと、心を新たにしているところです。

町の動きとしては、才児牧場に誘致した大規模養豚場で、昨年2月から豚の出荷が開始され、現在、町と商工会が連携して豚肉を町の特産品とすべく、各飲食店で様々な工夫を凝らしたメニューの提供が始まっています。

また、古民家を活用したホテル運営に向けた取り組みや、小水力発電推進、寝覚の床再整備事業なども進んでおり、寝覚の床の観光客数は大きな伸びを見せています。

上松町が将来にわたり「持続可能な町」であり続けるためには、森林や木材、水、空気、空家、遊休農地など、有効に活用されていない資源の掘り起こし、活用を積極的に行い、生活を支える様々な取り組みを行っていく事とともに、「心豊かに、安心して暮らす事が出来る町、ここに住んで良かったと思える町」を創って行くという事が重要だと思っています。

そのためには、地域のコミュニティーの充実が大切であり、一人ひとりの居場所や役割がある、温かな地域づくりに、町民の皆さんとともに取り組んで参りたいと考えています。

昨年12月12日に、東北地方で大きな地震がありました。

史上初めて「後発地震注意情報」が発令されましたが、当町は、「南海トラフ大地震防災対策推進地域」に指定されており、地震発生時には大きな揺れが想定をされています。

大規模な災害が起きた時には、自分の身は自分で守る、「自助」とともに、地域で支え合う「共助」が大切であり、そういった支え合いが出来る地域づくりを進めてまいりたいと考えています。

上松町は4年前に町政施行100周年を迎えました。

この先が続く、新たな町の歴史を、町民の皆さんとともに、一步一步刻んでいきたいと決意しているところであります。

この一年が皆様にとりまして、明るく、穏やかで、そして健やかな一年となりますこと、また、上松町が平穏であることをご祈念申し上げまして、新年にあたりましての挨拶といたします。

上松町長 村田 広司

二〇二六年新年初顔合わせ会

二〇二六年の新春を迎え、毎年恒例となっている新年初顔合わせ会が、一月五日（月）に、上松町のきの里総合文化センターにおいて開かれました。

町内から各界の代表者や、町民の皆さんと町職員を合わせ約七十名が出席し、今年一年間も無災害で穏やかな年となるよう願うとともに、新年のあいさつを交わしながら歓談しました。



会の終わりには、恒例となった上松町の年賀状配達数が、古川郵便局長から披露されました。

今年の配達数は、一五、二六四通（昨年二四、〇〇三通）。メールやSNSの普及や郵便料金の値上げ等により、年賀状の配達枚数も年々少なくなっていますが、上松町が活気にあふれる年になることを期待し、万歳三唱で会を締めくくりました。



上松保育園お餅つき

十二月二十三日（火）に、上松保育園では、ひと足早いお餅つきが行われました。

最初は保護者会のお父さんたちと保育士の先生たちが協力して、お餅をつきました。臼の中のもち米が杵でつかれてお餅になっていくのを見たり園児たちは、「すごい」と声を挙げました。保護者会の



お父さんたちの手を借りながら、一人ひとりが杵を持ってお餅つきを体験しました。よいしょ！よいしょ！と元気な園児たちの掛け声が園内に響き、年長児ともなると、一人で力強くお餅をつくことができました。

最後は、園児たちが一生懸命ついで出来たお餅で鏡餅を作り、新年を迎える準備を



ました。各家庭では、なかなかお餅つきをする機会が少なくなってきた中で、園児たちにとっては、貴重な体験ができた楽しい時間となりました。



上松保育園クリスマス会

十二月十九日（金）に、上松保育園でクリスマス会が行われました。

クリスマス会の前には、年長組の園児たちによるクリスマスマーケットが行われました。年長組のお兄さんお姉さんたちが用意した手作りのお店で、園児たちはお買い物やゲームを楽しみました。



クリスマス会が始まると、突然会場が暗くなりイルミネーションが点灯されました。ピカピカと輝くイルミネーションを見た園児たちは、「きれい」や「すごい」と喜びました。

イルミネーションの点灯が終わると、会場に飾られたクリスマスツリーを皆で囲みながら、クリスマスソングに合わせてダンスを楽しみました。

すると、会場にサンタクロースが現れて、園児たちは大はしゃぎ。サンタクロースに「どこから来たの?」、「プレゼントはどうやって用意するの?」と園児たちは質問して、交流しました。そして、サンタクロースから一人ひとりプレゼントをもらい、一緒に写真を撮りました。

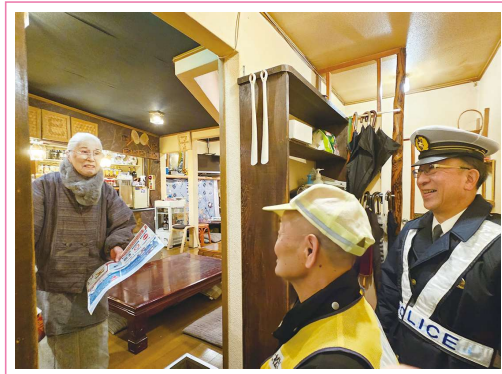
年末交通安全運動

令和七年の年末交通安全運動が、十二月十五日（月）から三十一日（水）までの十六日間行われました。

今年の運動では、夕暮れ時・夜間の歩行者事故防止、高齢者の交通事故防止、自転車のヘルメット着用と交通ルールの遵守、飲酒運転の根絶を重点に活動が展開されました。

運動期間中上松町交通安全協会では、国道十九号での人波作戦や、道の駅大桑での南部三町村合同交通指導所に参加するなど、ドライバーに向け冬の安全運転を呼び掛けました。また、年末年始で外食する機会が増えることから、町内の飲食店を巡回し飲酒運転の防止を呼び掛ける、ハンドルキーパー運動も行いました。

日没が早くなり、路面の凍結など交通事故が起きやすい時期となりました。車を運転する際は、早めのライト点灯とハイビームのこまめな切り替え、スピードの出し過ぎに注意し十分な車間距離を保つなど、冬の安全運転を心掛けましょう。また、夕暮れ時や夜間に出歩く際は、ドライバーから目立つように反射材を身に着けましょう。



令和7年度 上松町消防団年末夜警

上松町消防団では毎年、火災や事故が増えやすい年末年始を前に、夜間に地域をパトロールする年末夜警を行っています。

今年は12月27日(土)から30日(火)までの4日間で実施し、期間中各分団は管轄地区内をパトロールしながら、防火・防犯を呼び掛けました。

初日となった27日(土)には上松町役場において激励会と出発式が行われ、村田町長をはじめ町関係者や町議会議員、消防委員会の方々が消防団員を激励し、夜警へ向かう団員達を見送りました。

冬は空気が乾燥し、暖房器具の使用が増えるため火事が起こりやすい季節です。お出かけやお休みの前には火の元の点検を行い、火災予防へのご協力をお願いします。



上松町空き家バンクについて

上松町では定住促進による地域の活性化を図ることを目的に、町が空き家の売買や賃貸に関する情報提供を受け、それらの物件情報を公開することにより定住・移住希望者の住宅確保を支援する制度「空き家バンク」を行っています。

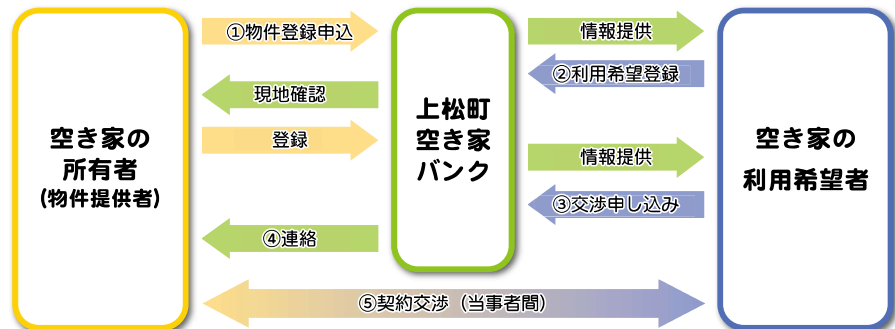
町内にある空き家を「売りたい、貸したい方」や、上松町に住みたいので空き家を「買いたい、借りたい」方は、ぜひご利用ください。

- ・土地のみでの登録も可能です(登録件数増えています)。
- ・「賃貸」物件に需要が高まっています(過去に空き家を「賃貸」で登録された方のほとんどが成約に至っています)。

詳しい内容や申し込み、現在公開されている空き家情報を知りたい方は、上松町HPの「上松町空き家バンク制度のご案内」をご覧ください。

URL https://www.town.agematsu.nagano.jp/kurashi/sumai_seikatsu/tochi/akiya.html

アクセス用QRコード



お問い合わせ先 上松町役場 企画財政課 企画政策係 TEL 0264-52-4901

地域おこし協力隊だより



【尾上 一生 隊員】



みなさんこんにちは。地域おこし協力隊、木工部&ベンガラ染め講師の尾上一生です。

今年の4月に地域おこし協力隊に着任して10カ月が経とうとしていますが、6月の御神木祭に使用するゴミ箱作りから始まり、御神木祭が終わってから月に2回の公民館でのベンガラ染め講座を実施してきたり、秋には木工市イベント「上松凱旋者」の装飾用の布制作に集中して取り組んだりとかして気が付くともう冬。本当にあっという間でした。この一年の振り返り、町に貢献出来た事って何だろう？と考えてみました。

御神木祭用のゴミ箱は祭りの時に大活躍だったし、その後の町の祭りでも登場する事が何度もあったし、デザインも超可愛いので貢献していると思います。

次に月2回実施している、公民館でのベンガラ染め講座は、6月から始めたのですが、最初の頃は知名度が無く、参加者が1名だけなど寂しい時もありましたが、今では毎月定員いっぱい近くまでの参加者がいてくれます。みんな「楽しかった。」「また来たい。」と言ってくれているので、町民の方に楽しんでいただいているのでこれもクリアだなと思いました。

上松凱旋者の装飾関係は会場の広さもあり、たくさんの染め物を作る必要がありましたが、イベントに来た人達からは「デザインが可愛い。」と好評な声をいくつか頂き、毎年装飾として使えるので良しとしました。

ほとんど自画自賛なおめでたい振り返りでしたが、来年度はこれを超える内容にしたいと思います。皆様、来年度もどうぞよろしくお願ひ致します。

【関口 望 隊員】



地域おこし協力隊の関口です。

上松町の冬の寒さで毎朝布団からなかなか出られません。誰か布団に入ったまま出勤する良い方法をそっと僕に教えてください。

さて、少し時間をさかのぼって、8月に開催した中高生を対象に開催したワークショップ「プロから学ぶ広告映像の作り方」で、子どもたちが制作した上松町のPR動画を「ふるさとCM大賞」にエントリーしました。結果は残念ながら最終審査には届かず。正直ちょっと悔しかったですが、それ以上に参加してくれた子ども達が素晴らしい作品を作ってくれて本当に満足しています。応募作品は、ふるさとCM大賞の公式HPで動画を観ることができます。また、長野県の移住ポータルサイト「楽園信州」にも掲載される予定です。ぜひチェックしてもらえたら嬉しいです。

<https://www.abn-tv.co.jp/cm-nagano/cm2024/>

そして12月20日には、地域おこし協力隊の企画でKINOTOCOにて「クリスマスワークショップ」を開催しました。木工部が作ってくれた木工クリスマスツリーづくりと、靴下をベンガラ染めでクリスマスカラーに染めるワークショップ。子どもから大人まで本当にたくさんの方が参加してくれて、準備は大変でしたが「やってよかった」と心から思える一日でした。

この記事が掲載される頃にはイベントは終了していますが、1月にもKINOTOCOで協力隊主催のワークショップを開催予定です。これからもKINOTOCOが町民のみなさんのコミュニティースペースとして、もっと気軽に使ってもらえるよう、協力隊みんなで積極的にイベントを開催していきたいと思っています。

年も明けて2026年。今年も上松町に少しでも貢献できるよう活動を頑張っていきます！押忍！

高田保さん 秋の叙勲 旭日双光章受章



柔道整復師の高田保さん（高田整骨院）が、保健衛生功労者として令和7年度の秋の叙勲で旭日双光章を受章されました。

11月28日に

叙勲受章者の伝達式と皇居での拝謁が行われ、12月18日に町長へ受章の報告のため来庁されました。

高田保さんは、松本市の整骨院勤務を経て独立し、昭和59年に上松町で高田整骨院を開設。長年地域の子どもからお年寄りまで住民に寄り添った施術治療で地域住民の健康づくりや保健福祉の増進に貢献いただいています。

長野県柔道整復師会では平成13年から会の理事、平成17年から平成29年までは副会長、平成29年から令和3年まで4年間会長を務められました。就任

の間、長野県柔道整復師会会長として、若手の柔道整復師会員の育成や長野県知事と災害時等防犯協定の締結など防犯防災活動、「子どもを守る安心の家」事業の立ち上げなどに尽力するほか、地域に貢献する活動を積極的に推進されてきました。

また、高齢者の保健対策にも熱心に取り組み、平成29年から町で行っている介護予防を目的とした運動教室の事業を受託いただいているほか、NPO法人が実施する健康教室の講師、シニアクラブ大会での講師など介護予防や健康づくりの活動にご尽力いただきました。県内でも柔道整復師として、こうした取り組みをしている例はほとんどないとうかがっています。

長年にわたり地域住民の施術と健康増進維持のための医療福祉分野の一端を担いながら柔道整復師の資質向上、充実発展にも尽力された功績が評価され、今回の受章となりました。

これからも、地域の住民の方のために貢献できる活動を続けていきたいと話されていました。

神田千史さんが人権擁護委員に委嘱されました

人権擁護委員は、国民の基本的な人権を守り、また、人権が大切なものであることを国民に知ってもらうため、法務大臣から委嘱されて活動する民間のボランティアです。上松町では3名の方が委嘱されていますが、任期満了により12月1日付で神田千史さんが委嘱されました。

人権擁護委員は、小、中学校での人権教育への協力、人権相談所での相談活動の実施、木曾寮等における入所者の訪問活動などを行っています。また、DV、ハラスメント、子どものいじめ、児童虐待、様々な差別の問題、性的マイノリティの問題、ご近所のトラブルなど身近な問題まで、あらゆる人権に関する相談に応じています。なお、個人の情報や相談をとりあつかうため、法律で守秘義務が課せられています。

上松町では、毎年1月、6月、8月、11月の年4回、心配ごと相談に合わせて人権相談所を開設しています。また、木曾法務局においては、下記のとおり人権擁護委員による面談及び電話による人権相談を行っています。お気軽にご相談ください。

法務局における人権相談

開設日時

毎週月曜日午前10時～
午後4時

電話番号

0264-22-2186

場 所 長野地方法務局木曾支局

みんなの人権110番

受付時間

平日午前8時30分～
午後5時15分

電話番号

0570-003-110

子どもの人権110番

受付時間

平日午前8時30分～
午後5時15分

電話番号

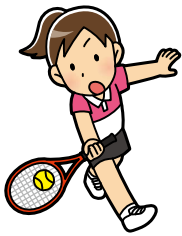
0120-007-110

上松町スポーツ推進委員の紹介

上松町スポーツ推進委員会では、令和7年11月30日をもって任期が満了した委員に代わり、新たに2名の委員が就任しました。当町民のスポーツ推進や健康増進に積極的にに関わり、(一社)木曾ひのきっ子ゆうゆうクラブと連携協力して活動していきますので、スポーツ推進に関わるご相談がありましたら、お気軽にお問合せください。

上松町スポーツ推進委員一覧

	氏 名	行政区	好きなスポーツ
1	小林 治美さん	(倉本)	(箱根駅伝・野球)
2	和木 良信さん	(立町)	(ゴルフ)
3	柘田 健太郎さん	(瀬木)	(バレーボール・野球)
4	武居 美穂さん	(瀬木)	(テニス・サッカー)
5	神田 健一さん	(島)	(陸上全般)
6	高柳 輝さん	(旭町)	(サッカー)
7	六井 勇士さん	(瀬木)	(スノーボード・柔道)
8	藤田 晋二さん	(倉本)	(フットサル)
9	☆上田 友葵さん	(大桑村)	(ハンドボール)
10	☆山田 春樹さん	(東里)	(バスケットボール)



- ※ 委員の任期については、令和7年12月1日から令和9年11月30日までとなります。
- ※ ☆は新任委員の方です。

お問合せ先：上松町スポーツ推進委員会事務局（上松町公民館内）TEL 52-2111

ボッチャ大会&パラスポ・ニュースポーツ体験会

12月7日(日)に木曾ひのきっ子ゆうゆうクラブ主催のボッチャ大会&パラスポ・ニュースポーツ体験会が上松町社会体育館で行われました。

会場では、目標の白いボールに向かって自分たちのボールを投げ合う「ボッチャ」、長い棒で円盤をコート上の得点エリアに滑らせ得点を競う「シャッフルボード」、点数の書かれた木のピンを木の棒を投げて倒し50点を狙う「モルック」、おむすび型の柔らかい「ふらば〜る」という変形ボールを床にワンバウンドさせてからレシーブするバレーボール「ワンバウンドふらば〜るバレー」の4種目が体験でき、参加者は経験の有無にかかわらず、パラスポーツやニュースポーツを楽しみました。

ボッチャ大会では、町内の福祉施設を利用されている方や地区公民館の集まりなど、4チームが競い合いました。相手のボールを弾いて逆転を狙うなど手に汗を握る試合となり、簡単でも奥深いボッチャを楽しみました。



民生児童委員が改選されました

上松町民生児童委員が、去る11月30日をもって任期満了（3年）を迎え、このほど一斉改選が行われました。今回の改選の対象は、地区を担当する民生児童委員18名と主任児童委員1名の計19名で、厚生労働大臣より12月1日付けで委嘱されました。

選任にあたっては、先に行われた民生委員推薦会（委員7名）で、候補者が推薦され、県の民生委員審査専門分科会の意見を聴いて、厚生労働大臣に具申し、厚生労働大臣が委嘱を行うものです。

地区担当では、15名の方が再任、3名の方が新たに選任され、主任児童委員についても再任されました。令和7年12月1日から令和10年11月30日までの3年間活動していただくこととなります。

また、今回の改選により、長年にわたって町の福祉行政に尽力された3名の方が退任されました。長年のご尽力に心より敬意と感謝を申し上げます。

民生児童委員は、民生委員法の規定に基づいて子どもからお年寄りまで地域住民の相談や要望に応え行政等への協力活動を行うとともに、地域福祉の担い手として住民の立場に立った自主的活動を行います。また、地域の福祉増進に努める重要な役割を担っており、住民の立場に立った身近な相談先です。福祉に関する相談等は、民生児童委員にお気軽にご相談下さい。

令和7年12月1日から民生児童委員になれる方は右の方々です。誰もが安心して生活できる地域社会を築くため、民生児童委員の活動にみなさま方のご協力をお願いいたします。

上松町民生児童委員名簿

番号	氏名	担当地域	
1	山下 佳子	上瀬木	上瀬木、下瀬木
2	塚本 貴代子	北上条	北上条、南上条
3	松原 美智子	東里2	東奥、東里2
4	横山 久美子	寝覚1	寝覚1
5	山下 庄市	西 中	小田野、西中、台
6	大屋 博利	西 奥	西奥
7	和木 光也	立 町	立町、倉本上条・倉本下条
8	宮下 陽子	島	島
9	澤口 美也子	下旭町	上旭町、下旭町
10	澤口 祐子	寝覚2	寝覚2
11	田中 伸一	北見帰	北見帰、南見帰
12	花戸 みち子	宮 前	観音、宮前
13	垣外 文康	寝覚3	吉野、寝覚3
14	小幡 さつき	北栄町	北栄町、南栄町
15	下野 伊世子	沖田町	上町、本町、中町、沖田町
16	牧野 由起子	東里1	東里1、東里3
17	細澤 登	小 野	小野、荻原
18	原 智美	下 町	下町、常盤町、田方、正島
19	村上 弘一	田 方	主任児童委員

カタログポケットで「広報あげまつ」配信中



「Catalog Pocket」（カタログポケット、通称カタポケ）はパソコンやスマートフォン、タブレット端末で様々な地域の広報物を読むことができる無料閲覧サービスです。

文字・写真の拡大や、記事の読み上げ、外国語への翻訳機能も利用できます。カタログポケットでの閲覧は左のQRコードからお願いします。

健康増進センターリシートーク ……113



美林ちゃん (美)

民生児童委員ってどんな人？



太郎ちゃん (太)

太：美林ちゃん、こないだ民生児童委員のことをテレビでやっていただけ、どんな人が知っている？

美：民生児童委員は国から委嘱されたボランティアの方だよ。

私たちが住んでいる上松町にも19名いるよ。

太：へー、そうなんだ。例えばどんなことをやっているの？

美：例えば、高齢の方や障がいを持っている方の家に訪問して話を聞いたり、地域の見守りをしたりして、困っていることがあれば必要に応じて行政や専門の機関につないでくれる「つなぐ」役割を担ってくれているよ。また月に1回、ひのきの里総合文化センターで「心配ごと相談」を開いて相談にのってくれているんだよ。民生児童委員は地域の身近な相談役なんだ。

太：相談ができることは良いことだね。でも、相談内容が他の人に知られたりしないかな。

美：そうよね。大事な内容だと心配になるよね。

民生児童委員には守秘義務があって、この仕事で知ったことは正当な理由なく他の人に漏らしてはいけないと法律で定められているんだよ。

太：法律で決まっているんだね。それなら安心だ。

美：みんなが安心して暮らしていくには、安心して相談ができることがとっても大事だよ。

上松町には各地区を担当する民生委員がいます。それぞれ地区の実情を踏まえながら、地域福祉の担い手として住民個々の相談に応じその生活課題の解決にあたりるとともに、地域全体の福祉増進のために活動しています。

また子育てや学校のことなど子どものことを専門に相談にのってくれる主任児童委員もいます。

地区担当の民生児童委員を確認したい場合など民生児童委員については上松町役場住民福祉課 福祉係にご連絡ください。令和7年12月1日に民生児童委員の改選がありました。地区担当の民生委員については別途紹介をしているのでご覧ください。

上松町役場 福祉係 (52-5550)

※情報掲載に同意を頂いた方のみ掲載しています。

杉澤	武	小松	上垣外	平山	原	野口	中島	長瀬
君子	昭子	エルマセミア	悦子	強志	けさ子	ちかゑ	京子	吉子
98歳	96歳	55歳	93歳	72歳	90歳	91歳	73歳	97歳
宮前	田方	北見帰	中町	上旭町	沖田町	中町	寝覚3	北栄町

ごめいふくをお祈りします



(敬称略)
十二月